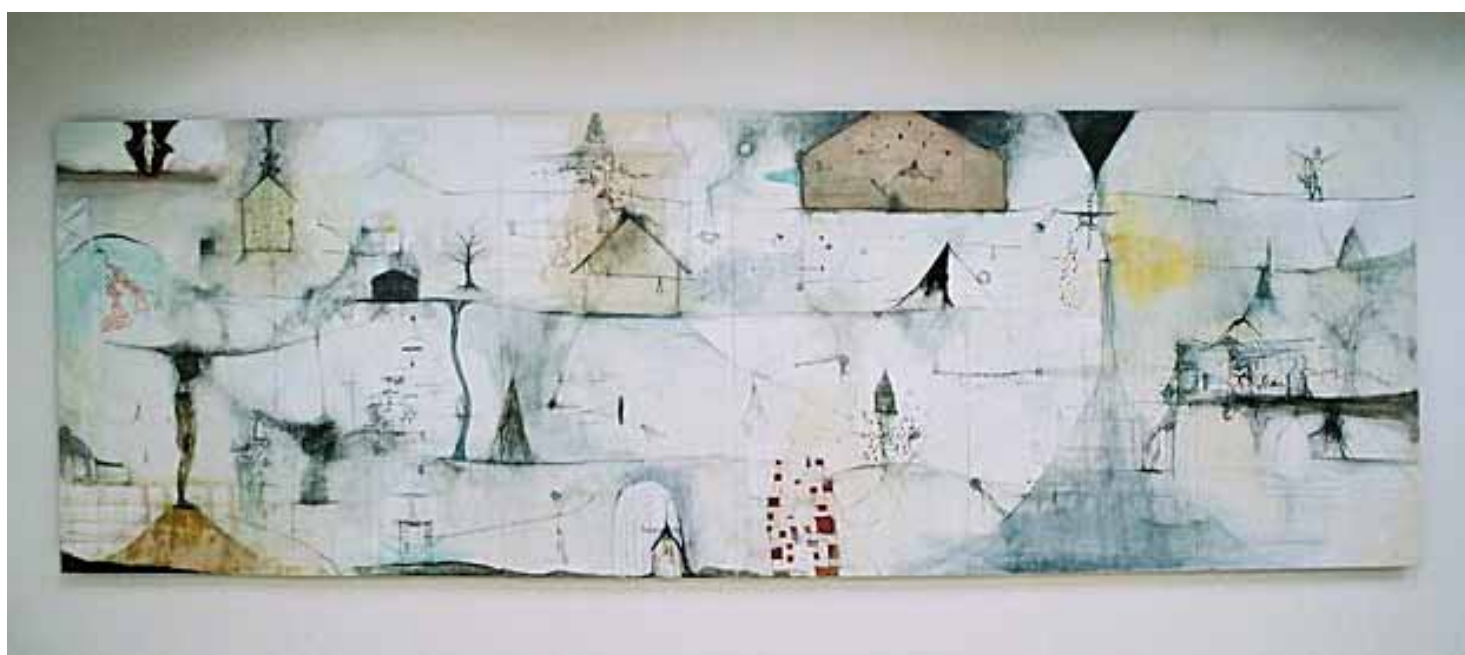


名古屋 文化 情報

2011
10
Oct.

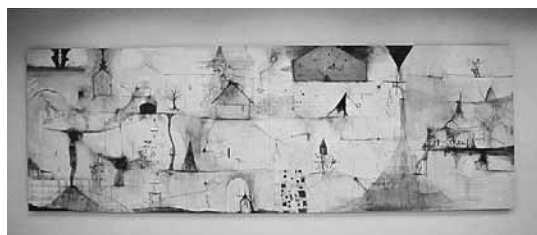
No.331
NAGOYA
Cultural
Information



2011
10
Oct.

Contents

十月のうた	2
随想 加藤条山 (尺八演奏家)	3
視点 名古屋市博物館 狂言共同社結成 120周年記念特別展 「狂言でござる—狂言共同社と尾張の狂言」 まとめ/飯塚恵理人	4
この人と... 久保田 明さん(上) 聞き手/はせひろいち	6
ピックアップ	8
おしらせ	9



表紙

作品

「police and thieves」

(2003年/180cm×540cm/アクリル・鉛筆・ボード)

当時、彫刻家を目指してた僕が初めて絵を発表しました。お金がなかったのでベニヤ板を6枚並べて描きました。画面を把握できない大きな画面は苦勞はしましたが、とても楽しかったです。

森北 伸 (もりきた しん)

1969年 名古屋市生まれ

1992年 愛知県立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業

2008年 第14回 石田財団芸術奨励賞 受賞

2009年 愛知県芸術文化選奨 文化新人賞 受賞

名古屋市芸術奨励賞 受賞

現在、愛知県立芸術大学美術学部准教授

十月のうた

月影

中山 恵子
なかやま けいこ

帰り着く 六日着たままの白衣
足音は確かに息子 いきていた
幾つもの奇跡を語り眠らない

避難所でもらったセーター「命」
だと

あの日あの時 記憶は今に記憶は
胸に

春、夏、秋とあの日から幾日たったのだろうか。
名古屋の食品会社に勤務する息子は、仙台空港南
の支社の工場長として出向していた。震災のあの
日、午後九時に「今は生きている・ツー」と
電話で一報が入った。三日ほどたつて水が引き、
偶然、流れ着いたベットボトルの水で喉を潤し、
泥路を社員一同避難所へ十キロほど歩いて、おに
ぎり始めて口にしたのだそうだ。その後、帰名
し駅に降り立てば何の変わりもない平和な日常が
あったと。
(現代川柳)

随想

竹に魅せられて



かとう じょうざん
加藤 条山 (尺八演奏家)

小学校3、4年生の頃だったか、70の手習いで始めた祖父の尺八がありました。今思うと祖父の吹く尺八はかすれた小さな音でしたが、自分の好きな曲を楽器で奏するという粋な祖父であったように思います。そんな尺八をいたずらに吹いてみると、音は出なかったが、何度も繰り返すうちにポーッと音が出るようになりました。尺八の手孔は大きく（1孔10ミ前後で表に4孔、裏に5孔あります）小学校3、4年生の指ではズボットはまってしまい、正式な持ち方はできず尺八を握って吹いていました。

ある時、私が音を出すことを知った祖父、父母は大人でもなかなか鳴らすことができない楽器を鳴らし、たいしたものだと褒めてくれたのです。それが私を尺八の道へと導いてくれた（普通の人生から大きく道を踏み外したともいいます）最初のきっかけのように思います。中学生になると、その頃は現代邦楽の全盛期で、学校から帰るといつも現代邦楽のレコードを聴いていました。特に尺八三本会の三重奏は本当に素晴らしく、「尺八でこんな音がでるなんて」と気持ちはますます演奏家の方向へ。ずーっと尺八は続けていましたが、大学生になるとプロの演奏家の厳しさをひしひしと感ずるようになり、

気持ちは揺らぎました。何をやっても中庸の人間。そんな人間がプロの演奏家なんて…しかし人生一度。大学卒業後、森故山師匠の勧めもあり、憧れの尺八三本会の一人、現人間国宝山本邦山先生に師事することができました。レコードでしか聴くことができなかった先生を前に、初めてのレッスンは心臓バクバクだったことを昨日のこのように思い出します。

尺八と出会ってから、あっという間に40余年が過ぎ、多くの方とのよい出会いに支えられて、中庸人間が順調に演奏活動が続けることができました。今は尺八との出会いに感謝感謝です。しかし、社会情勢や趣味の多様化等により尺八に興味を持っていただける方が少なくなって参りました。もちろん、私たち尺八に携わっている人間の努力不足も否めません。今までは自分の技術に磨きをかけることに必死でしたが、54歳になった今、これからは尺八という楽器のPR、後進の育成に尽力していきたいと思っています。

最後にこの紙面をお借りして。

「ちょっぴり音は出しにくいですが、どこにでも持ち運び便利な楽器です。ぜひ一度吹いてみませんか？」

名古屋市博物館 狂言共同社結成120周年記念特別展 「狂言でござる—狂言共同社と尾張の狂言」

名古屋市博物館で開催される今回の特別展は、「名古屋で狂言を守り伝える狂言共同社の所蔵品を中心に、江戸時代から現代まで続く名古屋の狂言を紹介」する目的で、10月22日(土)～12月4日(日)まで行われる。狂言共同社の佐藤友彦師・井上靖浩師、名古屋市博物館の長谷川洋一学芸員に、この特別展の見どころと、名古屋の狂言の魅力について伺った。
(まとめ：飯塚恵理人)

名古屋市博物館と狂言共同社との関わり

【飯塚】今回の特別展開催までの経緯を教えてください。
【井上】狂言共同社と名古屋市博物館との関わりは、祖父三世井上菊次郎(前名 松次郎)が代表を務めていた約20年前にさかのぼります。狂言共同社で保管している狂言面・装束・小道具のうち歴史的価値のあるものを、空調や保存技術の整った名古屋市博物館に寄託したのが最初で、その後、常設展でその一部を展示したこともあります。
本年は狂言共同社設立満120年ですが、これを記念して、市民の方に狂言の魅力と名古屋の狂言の歴史を知っていただく機会を作りたいと思っておりました。そうした折、約3年前に、博物館さんより父の四世菊次郎に特別展のお話をいただき、共同社としてもぜひ協力させていただきたいとのことで、今回の企画となりました。



左から佐藤友彦師・井上靖浩師・長谷川洋一学芸員

展示の目的

【飯塚】展示の目的を教えてください。
【長谷川】狂言をご存じない方にも、このようなおもしろい伝統的な演劇が名古屋で行われていることを知っていただくために、博物館1階で特別展を開催します。狂言のキャラクターや物語世界、江戸時代から現代まで続く名古屋の狂言、狂言共同社が伝える貴



チラシ

重な文化財といったテーマについて、よく分かるように展示を計画しています。

展示の工夫

【飯塚】小学生にも狂言の魅力がわかるように展示されるとのことですが—。
【井上】狂言には太郎冠者(召使い)・大名・山伏・僧侶など、さまざまな登場人物が存在します。それらの扮装が具体的にわかるように、今回は主な登場人物の役柄ごとに、人形を用いて装束をつけて立体的に展示します。また上演風景や稽古模様など、狂言を身近に感じていただく紹介VTRを3D映像で撮影して、狂言の所作や見どころなどを映像で具体的に観ていただけるように試みます。これなどは小学生でも興味持って観ていただけると思っています。
【長谷川】今回の展示では若い世代にも地元の狂言という文化を知ってもらいたいと思い、子ども向けチラシを作って市内の小中学校に配布いたします。

貴重な収蔵品の数々

【飯塚】装束や面も、狂言の舞台を観る上で大きな魅力ですね。
【佐藤】狂言装束は舞台衣装ですから、狂言のおおらかでユーモラスで上品な雰囲気にあうように工夫されたものが各狂言師の家に伝えられています。
「肩衣」は太郎冠者を代表とする庶民役に用いるものですが、身近なありふれたものを斬新でユニークなデザインで描いた模様が多いです。鬼瓦の描かれたものなどとてもユーモラスで観ていて楽しくなる装束です。

狂言面では、今回珍しい展示として五代目家元 山脇和泉元喬が



格子に鬼瓦と瓦模様肩衣



弁蔵武悪

作った弁蔵武悪が出されます。元喬は隠居して弁蔵と名乗ったことから名付けられたものです。共同社創立員であった河村家に永く所蔵されていましたが、この展覧会を機会に共同社に移管されました。元喬は面の制作についてもかなりの腕だったらしく、自家の面を写して藩主に献上したことが「狂言由緒略書」に記してあります。

展示品では、初代の山脇元宣が寛永8年に宮中から「和泉守」を受領した「口宣案」も「和泉流」という流儀の名前の由来となり、また江戸時代代々の家元の通称を「和泉」とした根本となる重要な資料です。



山脇元宣和泉守口宣案

【飯塚】狂言共同社は和泉流の宗家の六儀（狂言台本）と家元伝来の型附（所作、演じ方）を芸として現在も伝えていると伺っております。

【佐藤】狂言共同社の六儀は「雲形本」をもとにしていますから、家元系の芸を伝えていることは間違いないのですが、科白や演じ方も初代から全く変わらないのではなくて、歴代がその時代に合わせて工夫しながら少しずつ改變しているのですね。その実態がわかるという点で非常に興味深い伝書として「秘伝聞書」が挙げられます。

これは七代和泉元業が修業時代、五代元喬や六代元貞の存命中の教え、心覚えなど書き記したもので、その記事は享和年間から主として文化年間にわたっています。元業は多くの伝書を残していますが、その原点となったのがこの「秘伝聞書」です。「一子相伝之書」や「雲形本」の執筆の際には、「秘伝聞書」からの引用や、「秘伝聞書」参照を指示する注を施すなどしています。当時の本文や演出の変遷を知る上での第一級の資料です。

期間中のイベント—普及事業を中心に

【飯塚】普及のための関連事業も行われるようですね。

【長谷川】市民の方に実際の狂言をご覧いただき、興味を持っていただくことも重要ですので、10月29日（土）午後2時から「狂言鑑賞入門」として狂言共同社の皆さんに博物館講堂で実演していただきます。

【井上】《萩大名》、《井杭》という狂言を初めて観られる方にもわかりやすい演目です。《井杭》などは小さな子どもが活躍する透明人間の要素をもつ演目ですから、



萩大名



井杭

ぜひ子ども連れで観ていただきたいですね。

【長谷川】また11月13日（日）には「名古屋の狂言」という題で名古屋女子大学の林 和利教授による講演会



名古屋能楽堂
特別企画展「狂言へのいざない」

も行われます。また、名古屋能楽堂では10月31日（月）まで「狂言へのいざない—狂言共同社の装束と狂言画—」と題してプレ企画展が開かれています（無料）。

展示の魅力と今後の課題

【飯塚】市民の方に一言お願いします。

【長谷川】名古屋市博物館は、展示を通じて尾張地方の歴史・文化を市民に伝えるという大きな役割があります。狂言は能楽堂などで実際に演じられて楽しまれています。担当学芸員としては、写真・映像・記録も活用して、装束・面・伝書のような使われる物の「展示」を通じて、名古屋の狂言のおもしろさを伝えていきたいと考えております。

【井上】和泉流の四代目家元 山脇元知が名古屋に移住して以来、名古屋は和泉流の中心地でした。名古屋の文化として江戸時代から和泉流狂言が伝わってきたこと、そして狂言は現代の子どもたちにも十分に理解できる、おもしろい劇なんだということのアピールしたいです。教科書にも取り上げられていますね。

【佐藤】宗家に伝わった和泉流の資料類がこれだけ一挙に展示されるのは初めてです。大蔵流は「わらんべ草」でも古い台本でもかなり早くから公開され、狂言史、芸能・文化史の上にきちんとした位置づけがなされてきました。個人的な意見ではありますが、今は一子相伝の時代でも秘すれば花の時代でもありません。今後、広く公開されることによってこれらの資料が正当に評価され、私たちが受け継いできた芸に対する自信、さらなる伝承への自覚へと高められていくことを願っています。

【井上】他家の演出は参考のために知っておかなくてはと思いますが、どのお家も自分の手の内はお稽古にでも通わなければなかなか明かしてはいただけない世界。これは家元系の宿命でしょうか、共同社のもつ台本の演出法を参考にしたいのでおっしゃる方や研究者は、これまで歴史的にみても多かったですが、アンフェアな気もいたします。

【飯塚】狂言の普及と尾張の持つ文化の再確認として、非常に意義深い展示になると思います。ご家族やご友人とともに、ぜひ多くの市民の方に観ていただきたいですね。

料 金 前売 一般800円・高大生400円（当日200円増）、
小中生100円（当日100円増）

問い合わせ 名古屋市博物館 TEL 052-853-2655
（地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から徒歩5分）

この人と...



劇団名古屋演出家

くぼたあきら 久保田 明さん 上

世代を超え、優しく闘い続ける姿

決して長くはない我が国の現代演劇の歴史にも、ちゃんと世代感覚は存在し、ややもすれば「世代の違い」なる便利な言葉を言い訳に、表現世界を自ら狭めがちである。劇団名古屋の顔であり、骨太の演出家である久保田明さんは、決して若いとは言えない聞き手にとっても大先輩である。にも関わらず、その仕事ぶりは、世代や時代に妥協しない粘りの精神に満ちている。穏やかな表情の奥に見え隠れする、尊敬する大先輩の芝居魂にアプローチしてみた。

(聞き手：はせひろいち)

「風」と「星」が共存する稽古場

今回お話をうかがうためにお邪魔したのが、金山駅に程近い「劇団名古屋」の稽古場。交通量の多い交差点を一本外れただけなのに、お寺と住宅に囲まれた静かなたたずまい。シンプルなデザインの2階建てのアトリエだ。

「2005年に新たに建て直して今の姿になりましたが、稽古場としては1976年から使っていましたからね。大雨が降ると洗面器でも保たない感じだった」と懐かしそうに振り返る久保田氏。かつてはネームプレートの町工場だったというその空間で、さまざまな作品が作られてきたわけだ。

「これは少し飾りすぎかもしれないけれど」と前置きをして、久保田氏はまた優しい眼差しになる。「古い建屋には隙間風が常に吹き、天井の一部には穴が開いていましてね。隙間風を『現実の厳しさ』に、天井から見える星を『ロマンチズム』に見立てて頑張ってきたようなところがある。まあ、最近の若者にはそれこそ『?』でしょうけどね」。

確かに多くの作品を作り続け、劇団を長年継続するには「現実」と「ロマン」を同時に見つめていく必要があるのだろう。どちらか一つでは続かない。現在は1階にミーティングスペース、2階に稽古場があるのだが、そのいずれの場所にも使い込まれた机や長椅子が置かれている。明らかにかつて何度も舞台上で使われた「道具」と

してのそれである。「いつのどの舞台で使ったかは全然覚えてないんだけどね」と照れ笑いの久保田氏。でもきっと、この机や長椅子は昔の稽古場の魂のカケラとして、これからもココに棲みつづけ、利用者には何かを繋いでいくのだろう。

芝居の原風景と久保田演劇のルーツ

今年7月の自劇団公演で、通算108本目の演出作品を生み出した久保田氏。あまりのありきたりに照れながら、「演劇との出会い」を尋ねてみた。

「僕が育った西尾の田舎では、まだ当時、神社の秋祭り



小学校6年生の頃 2列目一番左

になると、いわゆるドサ回りの芝居集団を呼んでいたんですね。もちろん『髻物』なんだけど、あれは興奮したなあ。毎年、母親が連れて行ってくれた。蓆を持参して場所取りするのね。後は、青年団演劇も時々見てた。これまた母親が当時和裁を教えてて、その生徒さんが出演するのを観についていった」。

持参して場所取りするのね。後は、青年団演劇も時々見てた。これまた母親が当時和裁を教えてて、その生徒さんが出演するのを観についていった」。

久保田さんが中学になる頃には秋祭りの出し物は映画に取って代わり、青年団演劇という言葉も少しずつ聞かなくなるのだが、久保田少年に根付いた芝居への関心は消えなかったようだ。

「西尾高校で演劇部に入り、役者を2回ほどやった記憶はあるんですが、なにぶん高2で伊勢湾台風が起きてますからね…」と久保田氏。やがて愛知学芸大学（現 愛知教育大学）に入学し演劇研究会に所属。役者を中心に12本に携わり、演出・舞台監督の経験も積んだ。

「まだ不条理劇という言葉も市民権のない時代。僕はリアリズム中心で、この頃に手がけた木下順二の『蛙昇天』、小山祐士の『泰山木の木の下で』、神谷量平の『禁じられた人』などは鮮明に覚えていますね。」

劇団名古屋で演じられる社会性の強い作品群や、久保田さん自身が世話人代表を務める「核兵器廃絶・平和を守る名古屋舞台人の集い」の活動のルーツが、この大学演劇時代に強く形成されているのは、どうやら間違いないようだ。



高校2年生の頃 辻合敏明作「父と娘」に出演
(手前右側が久保田さん)

教員人生のスタート、そして入団

久保田さんが劇団名古屋の門を叩いたのは1965年。劇団名古屋は当時既に結成8年目、今も現役で活躍中の俳優・舟木淳さんを中心とした劇団だった。そして同時にこの年は、久保田さんがそれ以降38年続けられた国語教師としてのスタートの年でもある。

「自分で劇団を作る自信はなかったし、教師以外の職がイメージできなかった」と当時を振り返る久保田氏。「教職は知人の勧めであっさり決まり、プロテスタント系の男子校だと、通って初めて気づいた有様。でもおかげで幸か不幸か『日の丸、君が代』は在職中一度もお目にかからなかったですね」とは氏ならではのユーモア。大学卒業後に巡回公演があり、4月を迎え、赴任式の1週間後には劇団名古屋の研究所に入っていた。

「1965年といえば列島自体が安保闘争の流れで大きく揺れていた時代。『芝居なんか作っていてどうする?』という風潮の中、作り手側も『稽古場を棄てて街に出るべきか、稽古場に引きこもるか』を真剣に議論しあっていた。僕は左右の日和見主義だったからなあ…」と自嘲的に微笑みながら「心の中では稽古場にこだわりながらも、いざ出るのは辞さないタイプだった」と振り返る。

そのころ劇団名古屋は、当時の座付き作家だった「しかたしん」が『荒野にうたうとき』という社会問題を題材にしたシリーズを書き下ろし、愛大事件や大須事件、安保闘争などをテーマに連続上演していた。



22歳の頃 しかたしん作「荒野にうたうとき 第4部『大須事件』(1965年)
(一番右が久保田さん)

「初演の舞台が終わると、見終わった観客である労働組合の人たちや学者、ジャーナリスト、他ジャンルのアーティストたちで上演実行委員会が立ち上がり、今度はココが中心になって再演が組まれていくんです。このパワー、活動の広がり方がとても鮮烈で実におもしろかった」と久保田氏。

初演出で実感した「確かな手ごたえ」

演出助手や舞台監督として「しかた作品」に携わってきた久保田氏は、入団4年目の1968年、先述の「荒野にうたうとき」のシリーズ第6部で初の演出を任される。「鉄」と題された同作品は、新日鉄闘争をモチーフに労働者と経営者の悪しき構図を描いたモノだった。

「演出的な方法論はもちろん、何より30人ぐらい出る

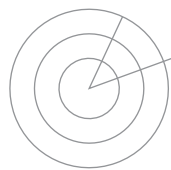
初演出作品 しかたしん作「荒野にうたうとき 第6部」
チアシ(1968年)

役者のほとんどが自分より先輩でしたからね。飲めない酒を飲まずにはいられないというか、今から思えば内心ピクピク、おどおどしながら作っていた」と、

てらいなく振り返る久保田氏。「でもね、やっぱりおもしろかった。思った通りではないけれど、自分のイメージがカタチになっ

ていくプロセスが楽しかった。実際の上演を見て自分でも『ある程度通用したな』って思ってた。この静かで確かな手ごたえこそが、以降の作品作りにおいて、久保田演出を根っこから支える一つの力になっていたのではないだろうか。かくして演出家・久保田明のスタートは切れ、久保田さんは劇団名古屋の専任演出として数々の作品を世に生み出していく。そこには様々な出会いと別れがあり、氏の魅力を探るカギも散りばめられているのだが……続きは次号にて。

ピックアップ



名フィルのポップスコンサート

名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動は多岐に渡るが、定期演奏会とは一味違う趣で聴衆を楽しませているのがポップスコンサートである。作曲家、編曲家、指揮者であるボブ佐久間をミュージックディレクターに迎え、名フィル・ポップスオーケストラが誕生したのが1995（平成7）年。以来、映画音楽やミュージカルなど幅広いジャンルのナンバー、ボブ佐久間のオリジナル曲を演奏する活動が続けられ、現在では8月のサマー・ポップスコンサート、12月のクリスマス・ポップスコンサートの年2回の公演が定着している。

今年のサマー・ポップスコンサートは8月5日、中京大学文化市民会館オーロラホールで開かれた。夏真っ盛りの暑い日だったが、会場では浴衣姿のスタッフがお客様を出迎え、涼しげな雰囲気である。

指揮のボブ佐久間がステージに登場し、第1部は「今こそ歌いたい、あなたを元気にさせる曲」がテーマ。3月の大震災で重く沈痛な思いにおおわれている今の日本。音楽によって明るく元気な力を届けようと、「見上げてごらん夜の星を」「いい日旅立ち」「シャル・ウィ・ダンス?」「三百六十五歩のマーチ」「ヤングマン」

といったおなじみの曲が次々と登場する。「きよしのズンドコ節」「燃えよドラゴンズ」がほんの少しだけさらりと顔をのぞかせているのも一興だ。第2部はガーシュイン。「サマータイム」「ス・ワンダフル」を含む9曲のメドレーに続いて、ジャズの要素を取り入れた有名な「パリのアメリカ人」が演奏された。

ポップスコンサートなので親しみやすい曲が並ぶプログラムであるのは当然だが、イージーリスニング的な音楽になっていないのはやはり本格的なオーケストラの強みだろう。音色は深々としていて表現に富み、浅薄な流れにはなっていない。そして、ボブ佐久間の編曲も巧みで洗練され、とくにガーシュインのメドレーは、曲をつなげただけのメドレーではなく全体が1つの作品のようにまとまった美しい仕上がりである。

オーケストラの魅力を広く多くの人々に伝えるポップスコンサート。クリスマス・ポップスコンサートは12月15日、愛知県芸術劇場コンサートホールで催される。 (〇)

問い合わせ

名フィル・チケットガイド TEL 052-339-5666



サマー・ポップスコンサート（8月5日）



ボブ佐久間氏

（撮影＝中川幸作）

第27回 芸術創造賞 受賞者決定

芸術創造賞は、名古屋市文化振興事業団の初代理事長・故亀山巖氏から受けた寄付を基金とする賞です。名古屋を中心に活動し、前年度における芸術創造活動が特に顕著で、今後の活躍が期待される個人または団体に贈るものです。このたび第27回の受賞者を決定いたしました。

受賞者 劇団うりんこ 〈演劇〉

1973年(昭和48年)の創立以来、うりんこ劇場(名東区・昭和61年開館)を拠点に、児童・青少年に向けた演劇作品を中心に創造活動を続けている。これまでに、東海地区を始め全国の学校・公立文化施設等で良質な公演を行い、観客数は年間約20万人にのぼる。国内はもとより海外の演出家や舞台美術家を招聘するなど、国際交流活動も展開している。

また、学校等におけるワークショップの開催は年間70回以上を数え、青少年の表現活動の育成に大きく寄与している。

平成22年度は、海外より演出家を招聘し、3年に渡るワークショップを経て新作「ねむるまち」(脚本・演出=パート・フーグルンド(スウェーデン))を発表し、新しい児童劇の創作スタイルが大きな反響を呼んだ。

また、近年脚光を浴びている若手演出家・柴幸男氏を迎えた新作「アセリ教育」公演や新作児童劇「ぼくってヒーロー?」(原作=立石彰、脚本・演出=北村直樹)等を次々と発表し、全国から大きな関心を集めた。

長年に渡る優れた創造活動に加え、多くの新たな創作に見られる意欲的な活動は高く評価され、名古屋の演劇界をリードする団体として、今後ますますの活躍が期待される。



『ショートストーリーなごや』第4回受賞作品映像化 監督決定

名古屋を舞台にした短編小説コンテスト『ショートストーリーなごや』第4回受賞作品を原作に映像作品を撮影する監督を公募し、全国からの応募者23人の中から、つぎのとおり決定しました。

大賞『ハトビト』監督/岡田 真樹

(原作/渡山 博崇 舞台/大須観音、仁王門通り、東仁王門通り)

佳作『鈴の音』監督/高松 明子

(原作/赤村 英行 舞台/名駅南三丁目交差点、富田公園)

佳作『新堀川の上で』監督/山口 智

(原作/加藤 陽一郎 舞台/高辻公園、新堀川の立石橋周辺)

ホームページ <http://www.s-story.org/>

問い合わせ 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団
TEL 052-249-9387 FAX 052-249-9386



岡田 真樹 監督



高松 明子 監督



山口 智 監督

受賞作は、ホームページのほか図書館などで作品集としてお読みいただけます。

ワンコイン名作映画シリーズ ミナミシネマvol.11

南文化小劇場で2ヶ月に1度なつかしの名画をワンコインで観るシリーズの第11弾は、「望郷」を上映します。

日時 10月18日(火) 13:30

会場 南文化小劇場

上映作品 「望郷」(1937年/1時間34分)

料金 <全自由席> 一般 500円
事業団友の会会員 450円(前売のみ)
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

問い合わせ 南文化小劇場
TEL 052-823-6511 FAX 052-823-6512

【あらすじ】

パリ生まれの前科15犯、強奪33件、銀行強盗2件でパリ警視庁から追われるギャング、ペペ・ル・モコ(ギャパン)は犯罪者には恰好の隠れ場フランスの植民地アルジェリアのカスバに逃げ込む。ある日、カスバ見物に訪れたパリジェンヌ・ギャビー(パラン)の虜になる。ギャビーがパリに帰る日、見送るために危険を承知で波止場に向かう。



名古屋市民芸術祭2011

名古屋市民芸術祭は今年で22回目を迎えました。毎年10～11月に音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・文学・生活芸術の幅広いジャンルにおいて、主催事業・参加公演が繰り広げられ、名古屋の秋を彩ります。今月号では参加公演についてご案内します。

参加公演 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能の四部門から参加を募り、特に優秀な公演に対し**市民芸術祭賞**を、また特に表彰に値する公演に対し**市民芸術祭特別賞**を贈ります。

音楽

『創立40周年クール・ジョワイエ演奏会』 ～男声合唱による西村朗作品集～

10月16日(日)14:00
三井住友海上 しらかわホール
一般2,000円<全自由席>
052-452-4522(クール・ジョワイエ)

上田道子ピアノリサイタル“スクリャービンとショパン”

10月21日(金)18:30
熱田文化小劇場
一般3,000円 学生1,000円<全自由席>
052-910-6700(ミュージッククリエート)

第22回新実真琴バリトン・リサイタル作曲家が愛した民謡

10月22日(土)19:00
電気文化会館 ザ・コンサートホール
前売3,000円 当日3,500円<全自由席>
052-910-6700(ミュージッククリエート)

創立55周年記念グリーン・エコー第54回演奏会

10月30日(日)16:30
中京大学文化市民会館 オーロラホール
S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円
C席2,000円<全指定席>
052-231-0955(長円寺会館内 グリーン・エコー)

林剛一バリトンリサイタル

11月3日(木・祝)19:00
電気文化会館 ザ・コンサートホール
一般4,000円 学生3,000円<全自由席>
052-733-8809(OFFICE リラン)

～フランツ・リスト生誕200年に寄せて～ 2台ピアノ&連弾で贈るリストのタベ

11月5日(土)18:45
電気文化会館 ザ・コンサートホール
一般3,500円 学生2,000円<全自由席>
052-678-5310(クラシック名古屋)

～マルコ・ボエーミ氏を迎えて～ 長屋弘子&森本ふみ子ジョイントリサイタル

11月6日(日)16:30
三井住友海上 しらかわホール
一般4,000円 学生2,000円 ペア7,000円
<全自由席>
052-678-5310(クラシック名古屋)

竹内功ピアノリサイタル

11月14日(月)19:00
電気文化会館 ザ・コンサートホール
一般3,500円<全自由席>
052-678-5310(クラシック名古屋)

～リスト生誕200年記念～

富田智容子ピアノリサイタル オールリストプログラム

11月26日(土)18:30
電気文化会館 ザ・コンサートホール
一般3,500円<全自由席>
052-241-7428(ネオ・メディク)



昨年度 名古屋市民芸術祭賞受賞
[相可佐代子メッツォ・ソプラノリサイタル]

舞台VTR映像専科

ステージの感動を格調高い映像で追求します。



ビデオソフトの企画・制作

有限会社 エーワン・ビデオ・システム
TEL (052)896-2256 FAX (052)896-4100



ハードシステム 部門
AV機器販売部門 (家庭用)
映像企画・制作部門
放送関連部門
機器設備レンタル部門

映像メディアの未来を創る
生きた情報を発信

TVS 株式会社 東海ビデオシステム
名古屋市中区上前津二丁目14-15 TEL.<052>322-6541 (代表) 6562 (芸能部)



■ホール舞台音響設備 販売、設計、施工、保守



株式会社 エーアンドブイ
〒464-0846
名古屋市中区千種区城木町二丁目98
TEL 052 (761) 5400
FAX 052 (761) 0909

演 劇

よこしまブロッコリー第13回本公演『体温と体液』

10月 7日(金)15:00、19:30
 10月 8日(土)14:00、18:00
 10月 9日(日)14:00、18:00
 10月10日(月・祝)14:00

K・D ハボン

前売 一般2,800円 ペア4,500円

当日 一般3,000円<全自由席>

090-6596-6115(よこしまブロッコリー)

shelf volume12「構成・イブセナー Composition /Ibsen」

11月5日(土)19:00
 11月6日(日)14:00、19:00
 11月7日(月)19:00

七ツ寺共同スタジオ

前売 一般3,000円 学生2,000円

当日 一般3,500円 学生2,000円<全自由席>

090-6139-9578(shelf)

パペットシアターゆめみトランクプロデュース
「フラワーズ」～小泉八雲作品集より～

11月18日(金)19:00
 11月19日(土)14:00、19:00
 11月20日(日)14:00
 11月21日(月)19:00
 11月22日(火)19:00
 11月23日(水・祝)14:00

損保ジャパン人形劇場 ひまわりホール

前売 一般2,800円 学生2,500円

当日 一般3,300円<全自由席>

090-9909-8285(ゆみだて さとこ)

ACT・NET /NPO法人あいちクローバー/COSMO CONSULTANT合同会社
「笑顔のmama de」

11月19日(土)14:00、18:00
 11月20日(日)11:00、15:00

千種文化小劇場

一般3,000円<全自由席>(日時指定)

052-808-2117(ACT・NET 山本)

オイスターズ第10回公演「水分」

11月25日(金)19:30
 11月26日(土)14:00、19:30
 11月27日(日)14:00

愛知県芸術劇場 小ホール

前売 一般2,500円 学生1,500円

当日 一般2,800円 学生1,500円<全自由席>

090-1860-2149(オイスターズ)

舞 踊

IN-STYLE TRAX 「ODORIBA4」

10月 2日(日)13:30、17:30

東文化小劇場

前売 一般3,000円 当日 一般3,500円

<全自由席>

052-932-0125(ダンススペースVIB)

STUDIO REAL-1

スタジオ創立15周年記念公演『Believe』

10月30日(日)17:00

芸術創造センター

一般3,000円<全自由席>

052-911-0779(STUDIO REAL-1)

2011年テアトル・ド・バレエ カンパニー公演
「白鳥の湖」(全幕)

11月19日(土)17:00

愛知県芸術劇場 大ホール

SS席12,000円 S席10,000円

A席 8,000円 B席 6,000円

<全指定席>

052-735-3151(マネージメント・プロ)

伝統芸能

大久保智子リサイタル 心の色音

11月20日(日)14:30

電気文化会館 ザ・コンサートホール

前売 一般3,000円 当日 一般3,500円

<全自由席>

052-501-4344(大久保智子)

磯村琴保尺八リサイタル 竹韻の風Ⅲ 尺八古典本曲
鹿と鶴

11月26日(土)16:30

三井住友海上 しらかわホール

一般3,500円<全自由席>

052-763-2634(コンツェルト・ビューロー・アサイ)

東海三曲演奏家の会

第19回三曲演奏家コンサート「箏・尺八いまむかし」

11月27日(日)13:30

電気文化会館 ザ・コンサートホール

一般2,000円<全自由席>

052-452-4511(東海三曲演奏家の会)

問い合わせ)名古屋市市民芸術祭実行委員会事務局

TEL 052-249-9387 FAX 052-249-9386

市内のイベントを検索!

ナゴヤ・アート・ナビ

▶ <http://www.art758.jp>

「ナゴヤ・アート・ナビ」ウェブサイトでは市内の文化施設のさまざまな催し物をご紹介します。ぜひアクセスしてお出かけください!

ナゴヤアートナビ

検索

掲載情報もお待ちしています。
ホームページからお申し込みください。

問い合わせ) 名古屋市文化振興事業団
TEL 052-249-9385

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい!

使う! 創る!

観る!

名古屋市文化振興事業団
「友の会」会員大募集

エンジョイコース(年会費3,000円)

- ・事業団主催公演や提携事業のチケット割引!
- ・情報満載の「友の会だより」などを毎月お届け!
- ・提携ショップでのお買い物の優待割引!
- ・会員の皆さまが参加できるイベント開催!など

クリエイティブコース(年会費15,000円)

- 上記エンジョイコースに加え、次の特典も受けられます。
- ・会員主催の公演チラシを事業団施設に無料配布!など

詳しくは、事業団「友の会」事務局まで TEL 052-249-9385

「なごや文化情報」編集委員

飯塚恵理人(椋山女学園大学文化情報学部教授)

小沢優子(名古屋音楽大学講師)

倉知外子(オクダ モダンダンス クラスター副代表)

酒井晶代(愛知淑徳大学メディアプロデュース学部教授)

田中由紀子(美術批評/ライター)

はせひろいち(劇作家・演出家)

当事業団の募集する事業にお申し込みいただいた場合の個人情報は、当該事業に関する事務連絡及び、当事業団の文化事業に関する案内のみに使用させていただきます。

文化庁補助事業 平成23年度 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

名古屋こども歌舞伎 重ねての御目見得

芸どころ名古屋の芸を受け継ぐ子どもたちが、
一年間の稽古を重ねて踏む晴れ舞台です。

日 時 10月30日(日) 【昼の部】10:30
【夜の部】14:00
(昼の部・夜の部は入替制)

会 場 青少年文化センター・アートピアホール

演 目 【昼の部】①口上
②傾城阿波の鳴門 どんどろ大師の場
③菅原伝授手習鑑 吉田社頭車曳の場
【夜の部】①吉例 寿曾我対面 工藤館対面の場
②奥州安達ヶ原三段目 袖萩祭文の場
③弁天娘女男白浪 稲瀬川勢揃いの場

料 金 大人1,000円、小学生以下500円 <全自由席>
※3歳以下無料



平成22年度公演

主 催 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団、御園座

後 援 名古屋商工会議所、名古屋市教育委員会

協 力 新城歌舞伎保存会、新城白子歌舞伎保存会

問い合わせ 名古屋こども歌舞伎事務局(御園座内)
TEL 052-222-8201

名古屋能楽堂10月定例公演 ～能・狂言と“世界”～

今年は能楽がユネスコ無形文化遺産として宣言されてから10周年にあたります。そこで、今年度の定例公演は「能・狂言と“世界”」と題し、海外の情景を描いた作品や、海外で上演された作品、能・狂言にいち早く触れた外国人と関わりの深い作品を取り上げます。10月公演は、1873(明治6)年、イタリヤ国王の甥、ジェノヴァ公の訪日饗応能から能「石橋」をお贈りします。



能「石橋」

演 目 能『石橋』大獅子(観世流)シテ 古橋正邦
狂言『鳴子』(和泉流)シテ 佐藤融
開演前ショート解説
「『石橋』の見どころ・聞きどころ」久田勘鷗

日 時 10月28日(金) 18:30
※開演前ショート解説 18:15

料 金 <指定席> 4,000円
<自由席> 一般3,000円、学生2,000円
※事業団友の会会員は1割引(前売のみ)
※自由席は当日500円増

問い合わせ 名古屋能楽堂
TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756

名古屋市文化基金のご案内

名古屋市文化基金(名古屋市市民文化振興事業積立基金)は、市民生活にうるおいをもたらす名古屋の文化の発展のために、昭和57年に名古屋市によって創設されました。この基金は、皆様からのご寄附と市の出資金を積み立て、その運用によって生じる果実(利息)をさまざまな市民文化振興事業に役立てています。

皆様からのご寄附をお待ちするとともに、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

名古屋市文化基金は、ふるさと寄附金(納税)制度の適用対象となります。

※名古屋市民の皆様方が、名古屋市文化基金に寄附される場合も、この制度によって控除を受けることができます。税控除等の詳細につきましては、リーフレット又は市公式ウェブサイトをご覧ください。

問い合わせ

名古屋市市民経済局文化振興室 TEL 052-972-3172

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 文化振興部総務課
TEL 052-249-9390

詳しくは、市公式ウェブサイト トップページ

文化 基金

検索



感動を育てる種をまこう。
名古屋市文化基金



NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2011